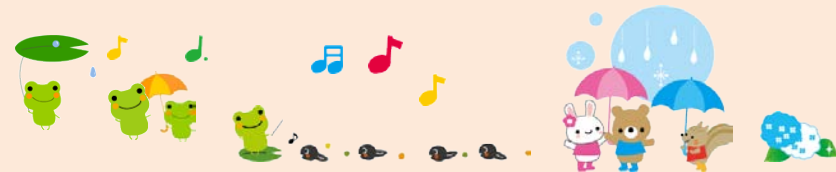


Information_6

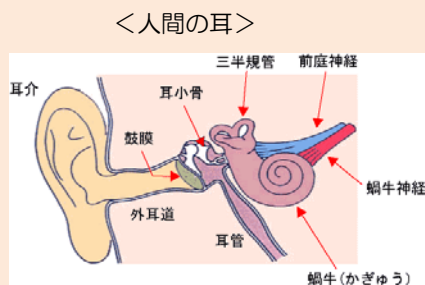


外耳炎のおはなし

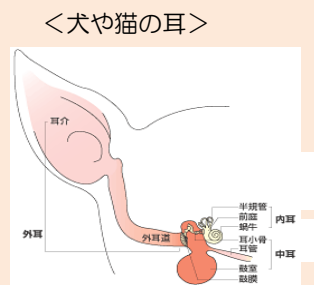
梅雨入りが発表され、ジメジメした日が続きますね。この時期、皮膚病の発症が増えてきます。その中でも多い、外耳炎の話です。

耳の構造

犬や猫と、人間の耳とでは構造が少し違います。



耳の入り口から鼓膜までは一直線になっている



耳の入り口から鼓膜まではL字の構造になっている

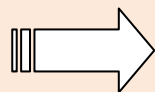
外耳炎いろいろ

一口に外耳炎といっても、その原因はさまざまです。

- 細菌や真菌(カビ)が耳垢を栄養にして繁殖
- 耳ダニが寄生
- アレルギー体質や、耳の中の分泌物が多いなどの体質
- 耳の中の腫瘍や異物 …… などなど



耳道が赤くなり、腫れたり
嫌な臭いがするようになる



日常のケアで予防を！

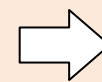
日頃から耳の中を観察しましょう。特に、汚れの溜まりやすい体質の子や、外耳炎になりやすい種類の子はこまめにチェックするようにしましょう。

汚れが溜まっていたら、専用のクリーナーを使って洗います。

耳の皮膚は弱いので、こすらないように気をつけましょう。

<外耳炎、大丈夫？>

- 耳を掻く、こすりつける
- 頭をよく振る
- 耳垢の量が多い、耳垢が黒い
- 嫌な臭いがする



外耳炎かもしれません。
早めに受診しましょう。

<外耳炎になりやすい犬種>

- アメリカン・コッカースパニエル
- ダックスフント
- ゴールデンレトリバー
- シーズー
- 柴犬
- ウェストハイランドホワイトテリア など

蒸れる時期は、特に耳の様子を気にしてあげましょう



スタッフより

耳の洗浄はコツさえ覚えてしまえばお家でもできますよ。よくわからないという方、お気軽におたずねください。

「家だと暴れてうまくできない」という場合は、無理せず病院やトリミングにお任せするのも手です。